

団体名:梅が丘三世代を繋ぐ会 活動名:うめがおかSUNプロジェクト

日時:令和3年 8月15日(日) 15時00分 ~ 19時00分
場所:梅が丘公園(太白区)

◆◇活動の様子◇◆

準備を重ねてきた「竹あかり」イベント。8月14日が本番、雨天の場合は15日。しかし数日前から、週間天気予報は、その日を挟んで一週間以上雨続きという無情なものでした。実施できるのかな…視察に行く予定のわたしたち以上に、地域の皆さんはご心配だったことでしょう。そんな思いが通じてか、15日の午後、ぽっかりと晴天が現れました。



住宅地の真ん中にある、そう広くない公園。ですが、夜、周囲に電灯があまりなかったり、公園の一部にうまく影になる個所があったりと、主催者の皆さんが前準備で夜に色々なところを見回って、「ここなら竹あかりが映える」と選んだ会場とのことです。

昼下がり、公園では夕刻に向けての準備が三々五々行われています。入口を飾る人、砂場でキャンドル用の小さな竹を用意する人、大きな七夕の笹を飾る人等。そんな中、奥ではメインとなる、細工が施された、身長を越えるような竹飾り十数本を、「もっと前に出したら?」「密にならないように間をあけて」と、レイアウトしています。そのうち、「この模様が見えるような角度で…」「これは誰々さんが作った竹で」「この図案はあの人が持ってきてくれて…」など、まつわる思いやストーリーへと話が広がっていき、ここに至るまでに、地域の方の交流を積み重ねて来られたことが垣間見えました。そのうちに、各家庭からは家族連れが、自分たちが作った小ぶりの竹あかりを持って、集まってきました。

公園には「三世代を繋ぐ会」のお名前通り、お年の方から、青年、小さなお子さん、町内会の方、老人会の方、子ども会の方と、世代もセクションも越えて、同じ場において、竹あかりイベントという一つの同じ方向を向いていました。

夕刻、竹に灯りがともりました。美しい光景です、がそれ以上に、「大変なことの後には、こんなご褒美もあるんだな」という言葉が表



しているように、この光景に至るまでの過程に、かけた時間やご苦労と、それに

見合う色んなご褒美、宝物があったのでしょうか。総じて、「まちづくりそのもの」と言えるようなイベントであったと感じました。

